

2020年度 保健医療科学研究科報告

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
<p>2019年度の授業アンケートによる学生の授業評価では、前期の平均KPIが4.83、後期の平均KPIが4.9であった。ことを踏まえて前期、後期ともに平均4.9以上を目標とする。</p> <p>昨年度と同様、定員確保を目指す。そのために</p> <p>(1) 昨年度と同様に就職ガイダンスや学習サポートを活用して大学院を学部生等に紹介し、受験者数の増加を目指す。</p> <p>(2) 大学院合格者が留年あるいは卒業しても国家試験に不合格しないように学部、学科と協力して学習をさせる。</p> <p>(1) シラバスに明示したとおりの適切な進捗で授業を行う。</p> <p>(2) 受講生のレベルを考慮した授業を行う。レベルの測定、検証には2020年度も授業アンケート、ルーブリックを活用する。</p> <p>(3) 実用的な英語能力が習得できるように授業を計画する。</p> <p>(4) 災害、パンデミック等の際に実践的な行動ができるように授業内容を改変する。</p> <p>(5) 図書および文献検索システムの充実を図る。</p> <p>(6) 博士課程の設置について議論していく。</p>	<p>・授業アンケート評価</p> <p>・ルーブリックによる学修評価</p> <p>・修了時アンケート</p>	<p>受験者数25名、 入学者数24名、 科目等履修生1名</p> <p>前期授業評価: 4.9 後期授業評価: 4.9</p>	<p>(1)授業アンケートの授業評価は4.9と昨年同様、高い評価を得た。</p> <p>(2)受験者数25名、入学者数24名となり、研究科定員の20名以上の学生を確保することができた。</p> <p>(3)合格者1名が学部留年となった。</p>	<p>前期授業評価: 4.9 後期授業評価: 4.9</p> <p>入学者数: 120%</p>	<p>(1)引き続き学部での研究会の紹介、院生による授業サポートを行う</p> <p>(2)学科と協力して、学習のサポートを行う</p> <p>(3)卒業生以外からの入学希望者を増やす手段を検討する(ニーズの把握、魅力ある研究科の授業や研究内容の検討)</p>
<p>2019年度に予定していた「研究倫理」および「チーム医療」の教育方法についてのFDを2020年度に改めて実施できるか検討する。</p>	<p>下記の指標で効果をした</p> <p>・FDアンケート結果</p>	<p>1回実施</p>	<p>倫理研究についてのFDを実施した。</p>	<p>FD実施後、倫理審査員長と相談する機会を得た。</p>	<p>研究科としては、これまで通り学部と一体での研究倫理審査委員会へ研究倫理申請を行う</p>
<p>上半期は、新型コロナウイルスによる学会中止が多いので、昨年度の論文・紀要件数、および学会発表件数の維持を目標とする。</p>	<p>下記の指標で効果を判定した</p> <p>・学会発表・論文投稿数</p> <p>・倫理審査申請件数・承認件数</p>	<p>学会発表13件、 論文投稿4件</p> <p>倫理審査申請 12件、承認10件</p>	<p>学会等がオンラインでの開催となったが、研修生の学会発表は13件、論文投稿は4件であった。(2019年度:学会発表16件、論文投稿2件)コロナ禍で研究面への影響が危惧されたが、昨年同様の件数であった。</p>	<p>研修生の学会発表は13件(国際学会3件)、論文投稿は4件であった。</p>	<p>・学生へ研究成果の発表や投稿を促す</p> <p>・学会参加助成の活用を促す</p>

2021年度 保健医療科学研究科

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p>
<p>1. 入学者に対する修了者比率100%(KPI)、授業アンケートでの授業評価4.9(KPI)、学修ルーブリックでの自己評価3.2以上(KPI)を目標とする。</p> <p>1)対面での授業、オンラインでの授業の特質を活かして授業の質を高める。</p> <p>2)2020年度修了生の学修到達度(ルーブリック)で達成度の低かった、英語力、統計処理、倫理申請について授業において強化を図る。</p>
<p>2. 年間の学生の学会発表、論文投稿数を2年生在籍人数19名と同じ19件として、2年間で1人1件以上の学会発表、論文投稿を目標とする。</p> <p>1)学会発表や論文投稿も含めた修士課程2年間の研究計画を立てる。</p> <p>2)中間発表において研究の進捗状況を確認する。</p> <p>3)学会発表奨励金などを活用し、学会発表を支援する。</p>
<p>3. 保健医療科学研究科の定員20人の確保を目標とする。</p> <p>1)学部学生への研究科紹介や研究発表会への学部学生の参加を促す。</p> <p>2)FDにおいて、保健医療科学研究科の強みや授業・研究の方向性を再検討し、魅力ある研究科を目指す。</p> <p>3)検討内容に基づきホームページを見直し、改変する。</p>
<p>4. 保健医療科学研究科の授業・研究方針を再検討し、学修・研究面での向上を図る。</p> <p>1)FDで教員の研究の紹介、授業内容の紹介を行い、共同研究を促しや魅力ある授業の構築を目指す。</p> <p>2)中・長期ビジョンとして、より高いレベルの研究や学生の研究の継続性などを考慮して、博士課程について検討する。</p> <p>3)認証評価結果を踏まえ教育課程の体系化を図る。</p> <p>・課題研究の明文化、カリキュラムマップの作成、科目ナンバリングの実施</p> <p>4)認証評価結果を踏まえ、適切な教員組織の編成と運営を検討する。</p> <p>・教授・准教授・助教、専攻別、男女比、年齢、学術型教員、専門領域のバランスのとれた教員編成</p>
<p>5. B's Vision 2024に向けての計画</p> <p>1)国際化に対応した地球市民の育成</p> <p>・国際学会での研究発表、英文誌投稿の推進</p> <p>・英語での授業の導入検討</p> <p>2)ストレス耐性をもった人材の育成</p> <p>・仕事をもつ研究生への支援</p> <p>3)永久サポート大学</p> <p>・修了生を対象とする研修会・研究発表会の開催検討</p> <p>4)教育力日本一</p> <p>・入学者に対する修了者比率100%の維持、学修ルーブリックでの自己評価3.2以上を目標とする。</p> <p>・学修関連、研究機器等の整備</p>